



# 宇宙人契約書



山桜一止

## 宇宙人 その1

---

- 第1条 宇宙人は、宇宙移民局の許可が出るまでは、地球でUF0と呼ばれているスペースカーで地球人の目の前に降り立ってはならない。
- 第2条 宇宙人は、目的の如何に係わらず、地球人を地球外に連れ出してはならない。
- 第3条 宇宙人が地球を訪れる時は、当面の間は地球人の姿に変身しなければならない。地球人が差別意識なく宇宙人と付き合えるようになってから、本当の姿を地球人に見せるものとする。
- 第4条 地球に移住した宇宙人は、頻繁に宇宙と地球を往復することは慎まなければならない。
- 第5条 宇宙人は、不用意に地球人に対して自ら宇宙人であることを明かしてはならない。
- 第6条 宇宙人といえども、地球では地球の法律、慣習、伝統を尊重し、勝手に地球の全部または一部を占有支配したり、改造、破壊したりしてはならない。
- 第7条 宇宙人は地球において宇宙人の優位性によって自分の夢を達成してはならない。例えば、自分の星では平凡な宇宙人でも地球に来ればすぐにヒーローになれる。しかし、それは安逸な生き方であり、逃避である。
- 第8条 宇宙人は、特定の人間を支配することにより、間接的に地球を支配してはならない。
- 第9条 宇宙人は地球人を捕食してはならない。地球では地球人と同じ食生活を心がけるものとする。
- 第10条 宇宙人は人間を改造し自分に隷属させ地球に自分の楽園を作り上げてはならない。
- 第11条 宇宙人は、適当な大きさの島を丸ごと自分のものにして、隠れ家にしてはならない。
- 第12条 宇宙人は地球上に、宇宙人向けのリゾートを建設し、運営または営業権譲渡をしてはならない。
- 第13条 宇宙人は、病気や戦争で苦しむ地球人を救ってはならない。地球では難病や戦争をなくすことは、宇宙人の仕事でなく、神様か政治家の仕事とされている。
- 第14条 宇宙人は、勝手に地球の海の水を他の星に売却したり移動したりしてはならない。
- 第15条 宇宙人は地球人を奴隷として他の星に売り飛ばしてはならない。地球人は脆弱であり使い物になら無いことは、宇宙では既に広く知られている。
- 第16条 地球人が作っている「宇宙基本法」の類は宇宙移民局の承諾を得ていない地球ルールであるが、宇宙の秩序ある利用を守るという基本精神の萌芽が見えるので、特に問題にする必要は無い。
- 第17条 宇宙人は、地球のSF映画を見ても、幼稚だといって馬鹿にしてはならない。
- 第18条 宇宙人が地球人を妊娠させた場合、生まれてくる子供に自己の能力の一部しか移転させてはならない。人類の急激な変化は必ず地球に悪い影響をもたらすからである。
- 第19条 宇宙人は、自らの惑星の生物、ウイルスを地球に持ち込んではいけない。また、宇宙移民局の許可なしに集団で地球に移住してはならない。
- 第20条 宇宙人は、地球上の特定の政府、企業、宗教団体、マスメディア、公共交通機関経営体、学校、思想団体などと排他的な関係を築いてはならない。
- 第21条 宇宙人は地球の通貨を偽造してはならない。また、為替相場を操縦してはならない。

- 第22条 宇宙人は地球の気候を操り、自分の惑星の環境に似せてはならない。
- 第23条 宇宙人は、地球上で政治結社、宗教団体の結成及び活動をしてはならない。
- 第24条 宇宙人が人類に悟られること無くその進歩に貢献することは奨励される。
- 第25条 宇宙人は、たとえ相手方がそれを望んだ場合でも、地球人を愛玩動物として飼育してはならない。
- 第26条 宇宙人は地球の言語をひとつに統一してはならない。
- 第27条 宇宙人は先進的な科学技術を、営利目的に目がくらんだ地球人に教えてはならない。
- 第28条 宇宙人は地球の動物を急激に進化させ、人類と動物が戦争を行う状況を作り出してはならない。
- 第29条 宇宙人は地球人同士の戦争に加担してはならない。
- 第30条 宇宙人は地球人と結婚する場合でも、いわゆる重婚をしてはならない。また、相手を自分の好みに改造してはならない。
- 第31条 宇宙人が地球上での生活を選ぶ場合、複数のアイデンティティを使い分けてはならない。
- 第32条 宇宙人が地球で働く場合に、以下の職業に従事してはならない。  
・魔法使い、預言者、超能力者、天文学者、物理学者、宇宙観光業者、教祖  
逆に、以下の職業は奨励される。  
・慈善家、辺境または戦場で働く医師、登山家、海洋研究者、写真家、冒険家
- 第33条 宇宙人は地球上の新しい言語を発見した場合は、詳しく調査し宇宙移民局に登録しなければならない。
- 第34条 宇宙人は、地球人の許可なしに、地球の生物や風景を記録し自分の惑星で出版したり旅行番組やクイズ番組に提供したりする権利を有する。
- 第35条 宇宙人は、宇宙移民局に登録せずに勝って気ままに宇宙を放浪し、宇宙憲章の精神を踏みにじている不良宇宙人がいることを地球人に教えなければならない。

## 宇宙人 その2

---

- 第36条 宇宙人は渡り鳥に混じって地球上を移動するゲームに参加するときは、鳥に変身しなければならない。
- 第37条 宇宙人は鯨または鮫にしがみついて海中移動を楽しむ場合は、水上に顔を出してはならない。
- 第38条 宇宙人が地球で長期にわたり暮らす場合は、極力平凡な生活を送るものとする。
- 第39条 宇宙人は、合算して200年以上地球で生活してはならない。
- 第40条 宇宙人は地球で作った借金を踏み倒して宇宙に帰ってはならない。
- 第41条 宇宙人は地球上の犯罪をおかしたあとで宇宙に逃走してはならない。それは、地球人ですら「旅の恥はかき捨て」と言って戒めている行為である。
- 第42条 宇宙人は地球人の美女又は美男子をマインドコントロールし、もっぱら自らの享樂のために利用してはならない。
- 第43条 宇宙人は、50年以上付き合った地球人に対しては、自分が宇宙人であることを明かし証明しても良い。尚、証明のためには地球人には無い能力を披瀝してもよい。
- 第44条 宇宙人は地球上では食料は現地調達とし、宇宙の食材および料理方法を地球に持ち込んだり教えたりしてはならない。
- 第45条 地球は今のところ宇宙法による正式な所有権が無い惑星である。しかし、宇宙人は勝手に地球を賭けの対象としたり登記したりしてはならない。
- 第46条 宇宙移民局は地球人に対し、地球時間で100年間の加盟猶予時間を与えることを決定した。猶予期間が満了する2110年までに地球人が自らの文明の力で宇宙船を開発し宇宙定期便の運行を開始しない場合は、この宇宙契約書は無効となり、宇宙人なら誰でも地球を支配、移動、分割、改造、交換できるものとする。但し、第6次元時空に共鳴させてはならない。

- 第47条 地球人は、宇宙移民局だけが全宇宙の生命体が参加する唯一の組織であることを尊重しなければならない。
- 第48条 なん人と言えども、自らを地球の代表者であると偽って、宇宙人といかなる協定、条約及び契約を締結してはならない。
- 第49条 この契約書の第3章に従い宣誓した地球人は、宇宙人を目撃しても驚いたりせず、またマスコミや政府に通報してはならない。
- 第50条 地球人は営利目的だけで宇宙人と交際してはならない。
- 第51条 地球人は宇宙人から入手した先進的技術により、自分だけ他の人類に対して優越的な地位に立とうとしてはならない。
- 第52条 宇宙人に輸血してはならない。また、宇宙人から輸血を受けてはならない。
- 第53条 地球人との混血の宇宙人に対しては、差別意識を持ってはならない。しかし、安易に同胞意識を持つのも良くない。
- 第54条 宇宙人を雇用して、プロスポーツ選手、音楽家、格闘家などの仕事に従事させ、金銭を得ようとしてはならない。
- 第55条 宇宙人が地球の情報を収集していることが明らかな場合は、人類は平和愛好家であり、戦争が大嫌いであることをアピールしなければならない。
- 第56条 宇宙人と友達になった場合は、地球のすばらしさを伝え、共存できる相手だということを理解させるように努めなければならない。逆に、宇宙人を批判し反感を持たれたり、むやみに卑下して地球人を侮蔑し宇宙人を礼賛してはならない。
- 第57条 宇宙人が怪我をしている場合は、地球の医学で判断せず、占い、方位、星座などにより適切な治療法の発見に努めるのが良い。
- 第58条 宇宙人が地球の女性を口説こうとしているのを発見した場合は、地球人は反対する権利を有する。但し、当該女性が宇宙に憧れている場合は邪魔をしてはならない。
- 第59条 宇宙人が地球の男を誘惑しているのを見つけた場合は、当該男性が地球の発展に役立つかもしれないなら、放っておいてかまわない。
- 第60条 宇宙人の友人が欲しい場合は、宇宙移民局地球支部の名簿に登録し、順番を待たなければならない。
- 第61条 自分は宇宙人だと称する人に会った場合は、大抵は夢想なので無視してよい。
- 第62条 自分の父親又は母親が宇宙人の場合は、真実を明かさずに一生を終えるのが良い。但し、私生活が無くなってかまわない場合は、週刊誌及びTVでカミングアウトしてみるのもひとつの生き方である。
- 第63条 宇宙人と裁判する場合は、地球の法律に準拠して勝訴しても、2審で宇宙法に負ける可能性が高いので、なるべく裁判に訴えないようにするのが賢明である。
- 第64条 超能力者は宇宙人だというのは俗説であり、本当の宇宙人は地球人の目に見えない技を使うので、騙されてはならない。
- 第65条 宇宙人がネットオークションで宇宙船を出品した場合、大抵は流行おくれで性能が悪い。それを承知で落札してもエネルギーが入手できないので、コレクター以外は近づかない方が良い。

- 第66条 日本の女子高生の間では、エベレストの山頂に登り、携帯電話から010-9999-9999で発信すればUFOと通話できるという話が信じられているが、そのようなことは無い。
- 第67条 宇宙人の女の子をナンパする場合は、宇宙移民となる覚悟ができていなければならない。つまり、宇宙人の星では食生活、気候、歴史などが全く違うが、地球を忘れて新しい環境に順応する覚悟が無いものは、ナンパをしてはならない。この点、日本人はその歴史が示す通りなんら定観を持たず征服者に迎合する能力が高いので、適している。
- 第68条 地球にハネムーンで来る宇宙人は、いわゆる端っこマニアであり、生き物が住んでいる星としては宇宙の最果ての位置に来ただけである。他意はない。
- 第69条 宇宙人に金を貸したり、借りたりしてはならない。

- 第70条 宇宙人と約束をしてしまったら、地球の法律を破ってでもその約束を守らなければならない。もし、宇宙人に仕返しされたら地球は瞬時に滅んでしまうからである。
- 第71条 宇宙人を家に泊める時は、食事は野菜を中心にし、風呂はぬるめ、テレビを見る代わりに照明を暗くして本を朗読してやると、翌日はとても喜んで宇宙に帰って行く。
- 第72条 ごくまれに、地球人を栄養源として捕食する宇宙人がいるが、彼らは何千年も宇宙を漂流した挙句に生きるために仕方なく栄養源を求めているのである。宇宙人の食料として補足された地球人は、自分の生命が宇宙人の延命に役立つことに感謝し、諦めて咀嚼されるのが美德といえる。
- 第73条 宇宙人を騙して金品を奪取してはならない。
- 第74条 地球人は、全世界統一で「宇宙人週間」を制定する運動を進めなければならない。
- 第75条 地球人は、宇宙旅行会社を設立する場合は、宇宙移民局地球支部に届け出なければならない。但し、自らのホームページで公開することでこれに変えることができる。
- 第76条 宇宙人と共同で会社を設立する場合は、宇宙人に過半数の株を保有させてはならない。
- 第77条 この契約書を地球上の他の言語に翻訳できる者は、直ちに翻訳に着手しなければならない。地球上に宇宙人契約書を広めるのが宇宙人との友好の促進になる。
- 第78条 宇宙人は、地球人救済のために、宇宙人契約書に宣誓しているかどうか尋ねることがある。その場合、地球人は相手が宇宙人であることを確認してか、正直に答えるものとする。
- 第79条 2110年までに宇宙定期便を運行開始できない場合、地球人は宇宙移民局への加盟は認められず、保護惑星リストから除外される運命であることを忘れてはならない。宇宙契約書に署名した地球人は過去の民族紛争の歴史を超え、共同で大型宇宙船を開発し運行開始しなければならない。
- 第80条 地球が宇宙移民局への加盟が認められなかった場合でも、第3章に従い宣誓した地球人は保護移民措置で救済されることが保証されている。

## 宣誓

---

宣誓は、場所と時間を問わず、天空を見上げて下記文言を声に出して言うことで正式に完了する。

「私は、地球人の知性を信じ、私の名誉と誇りに賭け、宇宙における地球人の生存のためにこの宇宙人契約書を遵守します。

(宣誓の日時) 20\_\_年\_\_月\_\_日\_\_時\_\_分、(自分の名前) \_\_\_\_\_」